

令和6年度 法学部法律専攻

# 基礎演習 募集要項 (第I期第2次)

応募期間：6月24日(月)12:00～28日(金)12:50

応募方法：K-SMAPY II (アンケート欄からエントリー)

結果発表：7月5日(金)20:00予定 (K-SMAPY II)

## 【注意事項】

- ◇ 各クラス20名を上限とします。20名以上の応募があった場合、各教員が指定する方法(志望理由や課題の記述など)に基づく選考が行われます。また、応募者が20名未満の場合でも、志望理由や記述の内容によっては不合格となる場合もあります。
- ◇ 演習の内容や選考方法は担当教員によって異なるので、募集要項をよく読んで確認したうえで、応募するようにしてください。
- ◇ 募集枠に余りがある場合に限り、9月に第II期募集を行います。実施は確実ではなく、希望するクラスで募集が実施されない場合もあるので、ぜひ今回の募集にエントリーするようにしてください。
- ◇ 「基礎演習」では、毎回の出席が原則です。履修中、やむを得ず欠席しなければならない場合には、必ず事前に担当教員に申し出て、その指示に従うようにしてください。

## 【掲載場所】

國學院大學ホームページ：

[トップページ](#) > [在学生・保証人の方へ](#) > [授業・履修](#) > [演習・卒業論文等](#)



<b>担当教員名</b>	宮内靖彦				
<b>担当教員の専門分野</b>	国際法	<b>開講曜時</b>	金曜3限		
<b>演習の概要</b>					
こんな人に来て欲しい こんな人にお勧め	戦争や武力行使の規制の成り立ちを知りたい人 国際社会に関心のある人				
<b>授業のテーマ</b>	戦争規制の成り立ちを知る				
<b>授業の目的・内容</b>	1冊の本を読む際に、新しい知識を得たり、著者のイイタイコトを理解しつつ、さらに自分の関心や視点から批判的に（相対化して分解して）考える方法と経験をしてみます。 具体的には、指定書籍の主要な章を読みながら、公に書かれているものをどのように批判的に読むかという技術を体験し、また、みんなで議論してみます。				
<b>教科書・参考書</b>	ハサウェイ=シャピーロ（野中（訳））『逆転の大戦争史』（文芸春秋、2018年）				
<b>授業の進め方</b>	指定書籍の各章を各グループで分担して読むことを基本としつつ、関連事項を調査し、毎週、1章ずつ批判的に報告してもらいます。その上で、質疑応答で、みんなで議論して、昔のことを考え、また現在のことを考え、現代の懸案をみんなで議論します。				
<b>身につくスキル</b>	資料の収集	○	文章の読解	◎	答案の作成
	プレゼンテーション	◎	文章の作成	○	
	協同作業	○	ディスカッション	◎	
<b>評価方法</b>	課題の出来、グループ作業への貢献度、プレゼンの出来、質疑応答への対応、質問の質と量、議論の状況、レポートの出来などを踏まえて、総合的に評価する				
<b>教員との連絡方法</b>	メール(miyauchi@kokugakuin.ac.jp)				
<b>選考方法</b>	自由記述欄に次の質問への解答を記してください。その記述を元に選考します。 (質問)「最近の武力紛争を一つ取り上げ、どのようなことに関心があるか、400字程度で記してください。」				

授業回	内容
第1回	ガイダンス、自己紹介、グループ分け
第2回	序章・国際法における戦争の規制（概略） by 教員
第3回	【文献資料の調べ方を知る】図書館・法学資料室の使い方を知る／文献リ
第4回	グループ報告1 -プレゼン、質疑応答・ディスカッション、ピア・レビュー
第5回	グループ報告2
第6回	グループ報告3
第7回	グループ報告4 -プレゼン、質疑応答・ディスカッション、ピア・レビュー
第8回	グループ報告5 -プレゼン、質疑応答・ディスカッション、ピア・レビュー
第9回	グループ報告6 -プレゼン、質疑応答・ディスカッション、ピア・レビュー
第10回	グループ報告7 -プレゼン、質疑応答・ディスカッション、ピア・レビュー
第11回	グループ報告8 -プレゼン、質疑応答・ディスカッション、ピア・レビュー
第12回	グループ報告9 -プレゼン、質疑応答・ディスカッション、ピア・レビュー
第13回	グループ報告10
第14回	まとめ
第15回	レポート課題

担当教員名	山下 裕樹					
担当教員の専門分野	刑法		開講曜時	月曜4限		
演習の概要						
こんな人に来て欲しい こんな人にお勧め	物事を様々な角度から考える訓練をしたい人 プレゼンテーションスキルを向上させたい人					
授業のテーマ	多角的考察・プレゼンテーションをグループワークを通じて経験する					
授業の目的・内容	<p>法学の世界では、ある一つの問題に対して、様々な学説（考え方）が主張されます。それは、様々な視点・立場からその問題が捉えられているからです。そして、その中のどれか一つだけが正解だというわけではありません。本基礎演習は、主にグループワーク活動を通じて、そうした法学の世界を体験することを目的とします。</p> <p>ある問題を様々な立場・角度から考えるためには、それぞれの立場の主張を理解する必要があります。考えるという作業には、情報を収集・調査・分析するという作業が不可欠です。このため、本基礎演習では、文献の調査方法についても学びます。</p> <p>自らの考えを他者に正しく伝えるためには、一定の作法（論理的な展開）が求められます。本基礎演習では、グループワーク報告および期末レポートを通じて、この点についても学びます。</p>					
教科書・参考書	授業中に適宜指示します。					
授業の進め方	グループワーク報告（内容およびレジュメ）と期末レポートおよび授業中における発言等を含めた授業態度を総合的に考慮して評価する。なお、正当な理由なく3回以上欠席した者、および報告を無断欠席したものについては、単位認定しない。					
身につくスキル	資料の収集	○	文章の読解	○	答案の作成	○
	プレゼンテーション	○	文章の作成	○		
	協同作業	○	ディスカッション	○		
評価方法	受講生自身が新聞やニュースから興味関心を持つテーマを素材とし、そこに存在する法的問題を見出し、それをグループワークにて検討・考察した後、「研究成果」を報告してもらいます。さらに、その報告を叩き台として、受講生全体で議論・討論します。学期末には、「研究成果」をレポートとして提出してもらいます。					
教員との連絡方法						
選考方法	<p>以下の①および②を総合的に考慮して選考します。応募時にK-SMAPY IIの自由記述欄に①および②を記載して下さい。</p> <p>①新聞やニュースから興味関心のあるテーマを取り上げ、その理由を100字程度で記載してください。</p> <p>②本基礎演習を志望した理由を400字程度で記してください。</p>					

授業回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	死刑の存廃①――昔話法廷『さるかに合戦』
第3回	死刑の存廃②――判例を読んでもみる
第4回	薬物事犯①――グラフを分析してみる
第5回	薬物事犯②――薬物事犯への対応を考えてみる
第6回	報告グループを作成する 報告テーマを決める
第7回	図書館・データベースを利用してみる
第8回	事例問題を解いてみる①
第9回	事例問題を解いてみる②
第10回	グループワーク報告①
第11回	グループワーク報告②
第12回	グループワーク報告③
第13回	グループワーク報告④
第14回	まとめ
第15回	レポート課題（「研究成果」の提出）